

感染防止策を講じたい

■原因・背景

新型コロナウイルスの大流行は、国内外の観光客の動態に大きな影響を与えた。北海道での緊急事態宣言は解除されたものの、感染リスク防止を目的とした受入体制の強化が急務である。

■解決方法

国や地方自治体のHPをチェックし、最新の状況を把握

【ガイドラインの情報把握】

業種別ガイドライン(内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室HPより)

<https://corona.go.jp/prevention/pdf/guideline.pdf>

(旅行業、航空分野、鉄軌道事業、ホテル業、宿泊施設、バス事業者、小売業、外食業)

【コロナ状況の情報把握】

最新支援策などの情報を把握可能

北海道庁HP <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/ssa/singatakoronahaien.htm>

【各自治体のコロナ関連情報の入手】

札幌市 https://www.city.sapporo.jp/kinkyu_202002.html

江別市 <http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/site/corona/>

千歳市 <https://www.city.chitose.lg.jp/docs/9800.html>

恵庭市 <https://www.city.eniwa.hokkaido.jp/kinkyu/corona/index.html>

北広島市 <https://www.city.kitahiroshima.hokkaido.jp/hotnews/category/1031.html>

石狩市 <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/soshiki/hokens/49698.html>

当別町 <https://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/site/covid-19/>

新篠津村 <https://www.vill.shinshinotsu.hokkaido.jp/hotnews/category/66.html>

《参考事例》

・サッポロテイネ(加森観光株式会社) 安心・安全のための新たな環境づくり(再掲)
(P.9)

新規事業参入のトレンドを知りたい

■原因・背景

新型コロナウイルスの大流行は、国内外の観光客の動態に大きな影響を与えた。従来の観光分野での収入減は避けることができず、既存事業の特徴を生かした新規事業開発の必要性が高まっている。

■解決方法

DXやコラボレーションを活用した施策の検討

【オンラインツアー】

オンラインで観光地とつなぎ、景色を楽しむことができる。バーチャルツアーというものもあり、簡易型のVR用ゴーグルをスマホに装着することで、寺社・仏閣などの名所・旧跡の360度の映像が流れ、仮想体験を提供する。

企画は旅行会社だけではなく、航空会社でもオンラインツアーを開催している。架空の路線を開通し、コックピット内から見る離陸映像を楽しんだり、事前に宅配で届けた名産品を味わったりしてもらう内容で展開している。

問合せ:旅行会社・航空会社・イベント企画会社

【ECと観光の連携】

観光には行けなくても、観光気分を楽しみ、上質を味わいたいという需要に応えるのが食品通販事業。お家にいながらインターネットで注文でき、さらにはギフトにもなる。

これまでインバウンド向け体験ツアーのコンテンツとなっていた「市場」。この市場の旬の食材を集めた通販サイトで注文を受け付け、各商店の目利きのプロが食材を仕入れて発送する。

【他事業者との商品開発】

コラボレーションは、話題になりやすい手法である。話題になるということは、世の中で活発な情報発信・交換が行われているということ。二つのブランドや商品のコラボであれば、ファンも2倍。会話の相手があるブランドを知っている可能性が高まり、情報も拡散されやすくなる。「Googleトレンド」で「コラボ」というワードの検索結果を調べてみると、この5年間でコラボの検索量は一気に増加している。企業の担当者たちがコラボのプロモーション効果に気づいた結果、いま日本中で企業や商品間でのコラボが溢れている。

《参考事例》

・to berry farm 地域事業者と連携した商品開発(P.17)